

賞 者 者 者
決 ま る

緑化ポスターと緑の写真館

12月5日水、12日水市役所で展示

海老名市緑化推進協議会

(伊藤健三会長)主催の「第21回海老名市緑化ポスターコンクール」と「第19回緑の写真館」の入賞者が決まりました。

緑化ポスターは「緑を守る・つくる・育てる」をテーマに、市内の小・中学生を対象に募集しました。応募は1463点で、43点が入賞しました。

また、緑の写真館は、緑部門は「発見！緑のまち」を、子ども部門は「自然(緑)の中の元気な子ども」をテーマに、54点の応募があり、10点が入賞しました。

◆作品を展示します

緑化ポスター第1次審査通過作品280点と緑の写真館の応募作品54点を次のとおり展示します。

▽日時 12月5日(水)～12日(水) 8時30分～17時30分 庁日を除く

▽場所 市役所1階エントランスホール。

緑化ポスターの入賞者(敬称略)

◎市長賞

▽小学生の部 八木まほろ(上星1年)、佐藤愛香(今

泉2年)、綱葉朱(大谷3年)、貝津公剛(今泉4年)、滝波那拓(杉久保5年)、紅貴朗(東柏ヶ谷6年)

▽中学生の部 熊野万里子(柏ヶ谷1年)、木村渚代(柏ヶ谷2年)、月原拓也(海老名3年)

◎議長賞

▽小学生の部 砂川夢里(海老名1年)、山口雄平(有馬2年)、松本佳菜(上星3年)、鈴木宣元(杉本4年)、森坂香歩(杉本5年)、宮下愛理(海老名6年)

▽中学生の部 市川真帆(今泉1年)、鈴木里菜(柏ヶ

谷2年)、北嶋楓香(海老名3年)

◎会長賞

▽小学生の部 星加悠介(今泉1年)、荻田美月(杉本1年)、丸橋朝恵(杉本1年)、水野誠也(上星2年)、藤田将也(杉久保2年)、渡部凌斗(杉本2年)、落合未有(海老名3年)、中込彩希(上星3年)、加藤沙弓(東柏ヶ谷3年)、澤田実華(上星4年)、本田康晴(上星4年)、工藤武道(杉本4年)、青嶋ユリエ(有馬5年)、服部咲恵(杉本5年)、永田果穂(杉本5年)、曾我部来美(海老名6年)、井上悠里(杉久保6年)、早川萌香(杉本6年)

▽中学生の部 小林美咲(有馬1年)、佐野葉摘(今泉1年)、天満春花(今泉1年)、猿田陽子(柏ヶ谷2年)、佐

久間夏美(海老名3年)、小島美咲(柏ヶ谷3年)、渡邊萌花(柏ヶ谷3年)。

緑の写真館の入賞者(敬称略)

【緑部門】

▽市長賞 秦妙子(中新田)

▽議長賞 茅野光廣(上今泉)、中村幸夫(下今泉)

▽会長賞 中村淳子(下今泉)、野村建司(柏ヶ谷)

【子ども部門】

▽市長賞 真鍋正子(国

分南)

▽議長賞 坪井隆(国分寺台)、王子秀男(国分南)

▽会長賞 野呂悠輔(河原口)、阿部松男(東柏ヶ谷)。

◎ 公園緑地課(☎235・9489)。



▲八木まほろさんの作品



▲佐藤愛香さんの作品



▲綱葉朱さんの作品



▲貝津公剛さんの作品



▲滝波那拓さんの作品



▲紅貴朗さんの作品



▲熊野万里子さんの作品



▲木村渚代果さんの作品



▲月原拓也さんの作品



▲真鍋正子さんの作品



▲秦妙子さんの作品

わたしたちの生活から排出される二酸化炭素などが原因となり、地球の平均気温が上昇し、さまざまな異常気象が発生しています。たとえば、南太平洋の「ツバル」という島国は、地球温暖化により、近い将来、海

環境まめ知識 ちょっと得する省エネ

中に沈むといわれています。冬は、家庭での電気・ガスといったエネルギーの使用量が多くなります。地球環境を守るために、毎日の生活の中で、できることから省エネを心がけましょう。

◆日常生活で簡単にできる省エネ

①暖房は20℃に:カーテンを厚手のものにしたたり、着るものを工夫したりして、暖房の設定温度を20℃にしましょう。設定温度を2℃下げると、1回で約12円の電気代節約になります。また室温は、すぐには変わらないので、夏冬を問わず、外出の15分くらい前に電源を切ってください。

②お風呂はお湯をためてから:お風呂は、浴槽にお湯をためてから沸かしてください。水から沸かすよりも早いので、ガス代が節約できます。シャワーは、使用を1分間短縮すると、約4円(1人)のガス代節約になります。また、追いつきに使用するエネルギーを減らすため、なるべく時間を空けず続けて入浴を。

③洗濯はお風呂の水を再利用:お風呂の残り湯を洗濯に再利用すると、汚れが落ちやすいだけでなく、90%再利用した場合、約22・5円の水道代が節約できます。

④家電製品のコンセントをこまめに抜く:家電製品は、こまめにコンセントを抜きましょう。コンセントを差したままだと予備電力を消費します。

◎ 環境保全課(☎235・4912)。

市政の現場から

先月11日に市長選挙が行われ、多くの市民の皆様からご支持をいただき、再選を果たすことができました。

前回市長選挙時に発表したマニフェストは、市民による外部評価で80・8%達成との評価をいただいています。

2期目の任期を改革の第2ステージと位置付け、新たに「3つの宣言」「8つの政策」「45の施策」からなるマニフェストを発表しました。

改革の第2ステージへ

この中で今後目指していくまちづくりの方向性を示し、各種団体の公共的な活動を支援する市民活動支援条例(仮称)の制定や、行政課題に即応する政策研究所の設置など、新たな政策・施策に

タウンミーティング等で市民の皆様から直接ご意見をいただいておりますが、市民と行政との協働を推進するためにも、市民の皆様と直接意見交換してお互いの理解を深めることは非常に重要なこ

も取り組んでまいります。

これらは来年度からスタートする第四次総合計画に盛り込み、実現に努めていきたいと考えています。

また、就任以来「現地・現場主義」に基づき

とだと実感しています。

従いまして、「現地・現場主義」は引き続き徹底し、今後も積極的に地域に出かけていきたいと思っています。

また、県下トップ水準の現在の財政状況を維持しながら、激しく変化す

市長 内野 優



便利です!「えびな安全・安心メールサービス」
登録は ebi@030.jp まで空メールを送信。
詳しくは、市ホームページまたは市生活安全課へ